

「食農教育」体験活動

平成 15 年 5 月 21 日 (水) 実施

講座コード 231

アラカルトコード 06021

第 1 回報告

ポイントはこちら！育てる！食べる！「食農教育」体験活動（講座コード 231）の 1 回目の講座が 5 月 21 日（水）に勢多農林高等学校で行われました。

午前中から参加の先生が 16 名、午後からの先生が 7 名の合計 23 名の参加がありました。

参加の理由は、自分のキャリアアップのため、「総合的な学習の時間」で生かそうなど、さまざまなようです。自分たちで植物を栽培したり、実際栽培した作物を消費したりなどの「食農教育」はとても着目されています。

受講形態と人数

「食農教育」体験活動では 4 種類の受講形態があります。

シーズンコース：全日程 5 回を受講する

スプリングコース：春まき野菜等を栽培する（第 1～3 回を受講）

オータムコース：秋まき野菜等を栽培する（第 4・5 回を受講）

アラカルトコース：実施日の午後のみを受講する

午前から参加するシーズンコース受講者は 15 名。スプリングコース 1 名。オータムコース 4 名でした。アラカルトコースは、第 1 回は 7 名です。

日 程

開講式

開催高校長あいさつ

グループリーダーあいさつ

農場長あいさつ

日程説明

実習（午前）

「自分の栽培したい春まき野菜の定植」

実習（午後）

「春まき草花の種まきと管理」

出席者には日本デルモンテ株式会社より、トマト 6 品種と栽培用の用土、トマト栽培の CD-ROM をご提供いただきました。



本講座で配付する資料の表紙写真は、「松風」No.73(平成 14 年 9 月号)より引用。

栽培をとおして生き生きと学ぶ園児や児童・生徒たちの姿がしっかりととらえられています。総合教育センター天田指導主事よりご提供いただきました。

受講者の声と講座の様子



- 生活科で野菜づくりをするので、植え付けの仕方等大変参考になりました。デルモンテの方からトマトの情報等得ることができ良かったと思います。
- 学校でサツマイモやミニトマトを育てたり、花の種をまいたり、移植したりしたことはありましたが、いつも詳しい先生に教えてもらいながらでした。今日の研修で、今までやったことがないことを体験できましたし、なぜそうするのかなどもよくわかりました。フレンドリーファームに行けるかどうか心配ですが、元気に育って収穫したいです。ありがとうございました。
- 普段あまり植物(育てること含む)に興味はなかったが、おもしろいと思った。学校での園芸活動にもいかしていけたらと思う。とにかく普段できない体験ができて良かった。
- 春まき野菜をまいた後の研修だったので、時期的にもう少し早い方がありがたいです。大変お世話になりました。
- すぐに学校で生かせる体験であった。知らないことが多く、勉強になった。学校でも実践してみたいという気持ちです。ありがとうございました。次回も参加したかったです。
- はシーズンコースの受講者、●はアラカルトコースの受講者の感想です。

○こんな楽しく気持ちの良いセンター研修は初めてです！！何といても場所がいい(午前中は農園、午後はすてきな教室で)。農業高校いいところですねえ。講師の先生も穏やかで、親切でうれしかったです。小三の総合で食農方向のテーマをやる予定なので、この講座を希望したのですが、何よりいい土に触れることができ、自分自身の気持ちの洗濯ができたと思います。今後も農園が楽しみ！大変お世話になりました。お土産もたくさんにありがとうございました。

高校生がうんと気持ち良くあいさつしてくれてうれしかったです。いい子たちですね。

○いろいろな教材を用意していただきありがとうございました。また、勢多農林高等学校の様子も見させていただき、大変勉強になりました。このように整った施設、熱心な先生のもと学べる子供たちは幸せだなと思いました。

○野菜づくり、マルチングの方法など、細かい技術的な面も分かって良かった。草花の種まき実習ができて良かった。花の咲くのが楽しみです

○研修にあたって良かったと思います。技術的、知識的なこと以上に大切なものが学べたように思います。残り4回がおわった時が楽しみです。

